



活動を紹介！



【東伊那区】(令和7年度 区長 滝澤稔)

■ 東伊那区 豪雨災害を想定した避難訓練

東伊那区では、毎年6月に豪雨災害を想定した避難訓練を実施しています。

本地区は山間地が多く、集中豪雨時には土石流災害などの大きな被害が想定されることから、十数年前よりハザードマップの作成、一次・二次避難場所の選定、避難経路図の整備とあわせて、継続的に訓練を重ねてきました。

訓練では、累計雨量が規定値に達したという想定のもと、区長から自治組合長、常会長、隣組長を経て区民へと連絡網を活用し、速やかに避難行動へつなげることを主眼としています。特に、隣組長以上の役員による連絡体制の確認を重要な目的としています。

一方で、毎年同様の内容で実施していることから、「マンネリではないか」「同じ内容なら実施しなくてもよいのではないか」といった声がかかることもあります。

しかしながら、区の役員は毎年交代しており、訓練は新たな役員にとって実際の災害時に備える重要な機会となっています。いわば、この訓練は「毎年変わる担い手のための訓練」であるといえます。

また、防災訓練は、マンネリであっても、空振りであっても、失敗があっても構いません。実際の災害時に冷静に行動し、発災直後の数日間をいかに乗り切るかが何より重要です。

東伊那区では、こうした考え方のもと、今後も実効性のある訓練を継続していきます。

